

# 東日本大震災からの復興

～これまでの5年間と今後の取り組み～

宮古市東日本大震災復興計画 計画期間 平成23年度～平成31年度（9年間）

23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
復旧期			再生期			発展期		



元祖宮古鮭まつり（津軽石川河川敷）



鎌ヶ崎熊野神社 祭礼の神輿曳き舟（臨港通）



重茂味まつり（重茂漁港）



鮭・あわびまつり（田老地区特設会場）

平成28年3月  
岩手県宮古市

宮古港開港400周年  
開港時代行列（大通一丁目）

※平成27年度に行われた各地区のイベント

# 東日本大震災からの復興

～これまでの5年間と今後の取り組み～

## 目次

1. はじめに	02
2. 東日本大震災から5年間の道のり	03
3. 宮古市東日本大震災復興計画 3つの柱それぞれの取り組み	
(1) すまいと暮らしの再建	05
(2) 産業・経済復興	08
(3) 安全な地域づくり	11
4. おもな復興事業の現況	14
5. 発展期に向けた取り組み	
中心市街地拠点施設整備・ スマートコミュニティ	15
道路交通網・フェリー航路	16

## 東日本大震災の概要

### ■地震と津波の状況

- (1)地震発生日時 平成23年3月11日(金) 午後2時46分
- (2)震源地 三陸沖北緯38度6.2分、東経142度51.6分、牡鹿半島の東南東約130km付近
- (3)震源の深さ 約24km
- (4)地震の規模 マグニチュード9.0
- (5)震度 震度5強/茂市、震度5弱/五月町、鉾ヶ崎、長沢、田老、川井、門馬田代
- (6)津波の最大波 平成23年3月11日(金)午後3時26分 8.5m以上

### ■被害の状況

- (1)人的被害 死者517人(うち行方不明者94人)
- (2)住家被害 4,449棟(全壊2,677棟、大規模半壊688棟、半壊640棟、一部損壊444棟)
- (3)非住家被害 4,639棟(全壊3,291棟、大規模半壊647棟、半壊534棟、一部損壊167棟)
- (4)被害推計額 総額2,457億円※国・県の施設、鉄道、電信電話、電気事業者関係等の被害を除く  
(主な被害推計額/住宅1,496億円、商工労働関係施設281億円、水産関係施設215億円、漁港施設150億円)
- (5)被災世帯 4,582世帯、11,979人※被災世帯数は罹災程度が半壊以上、発災時数値

## 1 はじめに



東日本大震災から5年が経過いたしました。

あらためまして、今回の震災で亡くなられた方々に心から哀悼の意をさげますとともに、被災された皆さまへお見舞いを申し上げます。また、全国の皆さまから多大なるご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

これまでの5年の間、震災からの復興を最重要課題とし、宮古市東日本大震災復興計画に掲げた3つの復興の柱である「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」を優先してまいりました。特に、応急仮設住宅などでの暮らしを余儀なくされている被災者の方々が、一刻も早く恒久的な住まいを確保できるよう被災者の自宅の再建につながる事業を最優先に全力で取り組んでまいりました。

災害公営住宅整備事業については、おおむねの整備を終え、残る山口地区についても平成28年度中の完成を見込んでおります。また、高台団地の宅地はすべて完成し、田老地区の区画整理事業は、平成27年9月にはおおむね完成しております。鉾ヶ崎・光岸地地区は、平成29年3月の完成に向け、事業を進めてまいります。

この5年間の取り組みにより、少しずつ新しいまちの形が見えてきました。復興計画における再生期の最終年度となる平成28年度は、引き続き被災者の暮らしの再建を最優先に取り組んでまいります。平成29年度からの発展期に向け、市民の皆さまが復興を実感できるよう、水産業や観光の振興など各種産業・経済の復興に向けて取り組んでまいります。

また、防潮堤などの海岸保全施設、道路及び鉄道の復旧・整備などについて、関係機関と連携して取り組んでまいります。

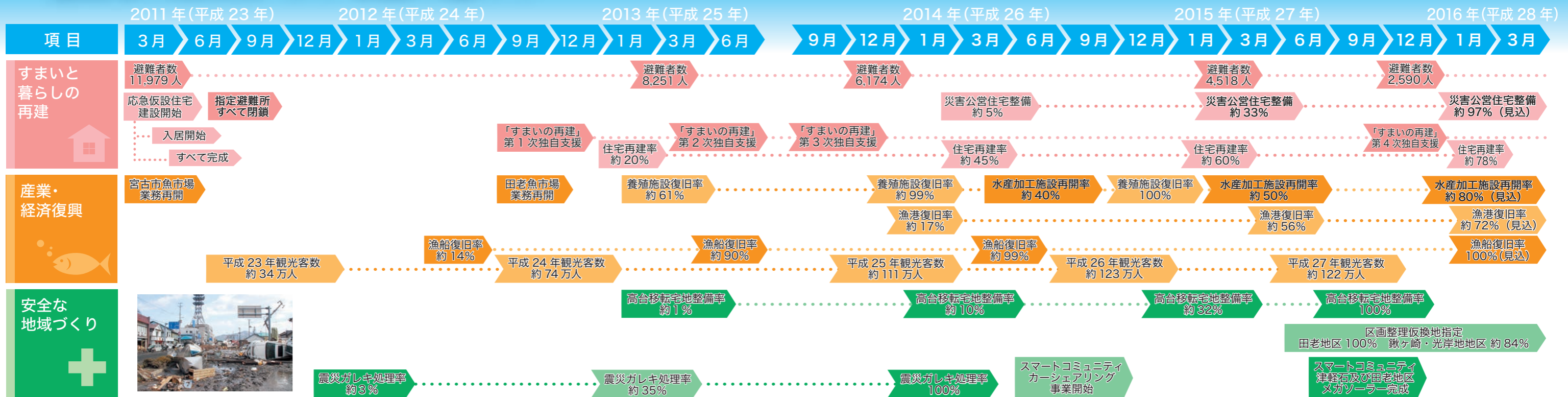
市民の皆さまへ伝え続けた言葉「宮古市は必ずや復興いたします」の想いを胸に、活気と笑顔があふれる宮古を1日でも早く取り戻し、市総合計画で掲げる市の将来像『「森・川・海」とひとが共生する安らぎのまち』の実現のために全力で取り組んでまいります。

復興に向け一致団結し、共に頑張りましょう。

平成28年3月

宮古市長 山本 正徳

# 2 東日本大震災から5年間の道のり



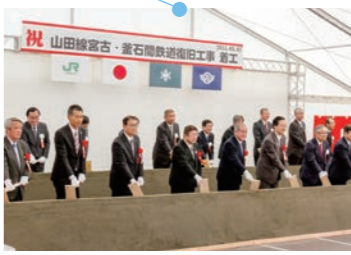
## これまでの主な動き

宮古市東日本大震災五周年追悼式を挙げる(3月11日)  
川崎近海汽船(株)がフェリー新航路「宮古-室蘭」開設を正式決定(3月7日)  
市議会、事務所(市役所)の位置を定める条例改正案が可決(2月1日)  
本町災害住宅、金浜災害住宅の入居を開始(12月1日)  
田老三王災害住宅1-3号棟、5、6号棟の入居を開始(11月26日)  
高木毅復興相が宮古市を視察(11月22日)  
田老まちびらき記念式を挙げる(11月22日)  
田老災害住宅の入居を開始(11月20日)  
津軽石災害住宅の入居を開始(10月5日)  
黒田町災害住宅の入居を開始(9月3日)  
田老地区防災集団移転促進事業による宅地(16戸)が完成(9月)  
西町災害住宅の入居を開始(7月22日)  
重慶災害住宅の入居を開始(7月8日)  
宮古市応急仮設住宅撤去・集約化計画を策定(7月1日)  
宮古市新市10周年記念式典を挙げる(6月14日)  
高浜・金浜地区防災集団移転促進事業による宅地(39戸)が完成(6月)  
西ヶ丘災害住宅の入居を開始(5月15日)  
日の出町災害住宅の入居を開始(5月13日)  
宮古港開港400周年記念開港時代行列・記念式典を挙げる(4月24日)  
和見町災害住宅、近内災害住宅2号棟、崎山災害住宅の入居を開始(4月11日)  
宮古市中心市街地拠点施設整備事業基本計画を策定(3月25日)  
宮古市東日本大震災四周年追悼式を挙げる(3月11日)  
川崎近海汽船(株)がフェリー新航路「宮古-室蘭」開設の検討を開始(3月10日)  
JR山田線(宮古-釜石間)の復旧工事の着工式を実施(3月7日)  
重茂地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(17戸)が完成(3月)  
竹下巨復興相が宮古市を視察(1月22日)  
赤前地区防災集団移転促進事業による宅地(42戸)が完成(1月)  
宮古市民文化会館が復旧し、式典と市民による舞台芸術発表を開催(12月21日)  
赤前災害住宅の入居を開始(12月3日)  
宮古市中心市街地拠点施設整備事業基本構想を策定(11月14日)  
首飾地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(3戸)が完成(7月)  
石浜地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(2戸)が完成(7月)  
リアスハーバー宮古が復旧し、供用を再開(5月29日)  
環境省整備の震災メモリアルパーク中の浜がオープン(5月24日)  
三陸鉄道北リアス線「小本-田野畑間」の運転再開により、全線運転再開(4月6日)  
高浜災害住宅、近内災害住宅1号棟の入居を開始(4月1日)  
震災による災害廃棄物の処理が完了(3月31日)  
宮古市東日本大震災三周年追悼式を挙げる(3月11日)  
小堀内地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(2戸)が完成(3月)  
法の脇地区防災集団移転促進事業による宅地(12戸)が完成(3月)  
田老地区三王団地の現場見学会を開催(2月2日)  
災害公営住宅の入居者募集を開始(1月15日)  
千鶴地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(3戸)が完成(12月)  
たろう観光ホテル等の震災遺構保存への支援を復興庁が発表(11月15日)  
宮古盛岡横断道路「根市-箱石間」の中心杭設置式を実施(11月8日)  
崎山地区防災集団移転促進事業による宅地(6戸)が完成(10月)  
三陸ジオパークが日本ジオパークに認定(9月24日)

コミュニティFM「みやこハーバーラジオ」が開局(8月26日)  
宮古市広域総合交流促進施設「シートピア」などが復旧し、供用を再開(7月6日)  
三陸復興国立公園が創設(5月24日)  
災害公営住宅建設予定を公表(5月1日)  
安倍晋三首相が根本復興相とともに宮古市を視察(4月6日)  
浦の沢・追切地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(2戸)が完成(3月)  
宮古市東日本大震災二周年追悼式を挙げる(3月11日)

野田佳彦首相が宮古市を視察(10月27日)  
宮古市災害対策本部を廃止(宮古市災害対策本部会議を78回開催(8月31日)  
宮古市役所本庁舎1階フロアが復旧(7月2日)  
県が復旧・復興ロードマップ(総括工程表)を発表(6月11日)  
平野達男復興相が宮古市を視察(5月23日)  
被災住宅の再建支援の補助事業を開始(5月)  
震災がれきの仮設焼却炉が稼働(4月)  
東日本大震災復興まちづくり計画を策定(3月30日)  
宮古市東日本大震災復興計画(推進計画)を策定(3月30日)  
宮古盛岡横断道路「藤原-松山間」の中心杭設置式を実施(3月25日)  
宮古市東日本大震災一周年追悼式を挙げる(3月11日)  
国が復興庁を設置し、盛岡市に若手復興局、宮古市と釜石市に支所を設置(2月10日)

三陸沿岸道路「松山-田老間」の中心杭設置式を実施(12月23日)  
東日本大震災復興特別区域法が成立(12月7日)  
宮古市東日本大震災復興計画(基本計画)を策定(10月31日)  
県が若手復興東日本大震災津波復興計画復興基本計画を策定(8月11日)  
指定避難所をすべて閉鎖(最大時85箇所、8,889人が避難(8月10日)  
国が東日本大震災復興基本方針を策定(7月29日)  
応急仮設住宅がすべて完成(62箇所、2,010戸)(7月25日)  
宮古市東日本大震災犠牲者合同慰霊祭を挙げる(6月26日)  
東日本大震災復興基本法が成立(6月20日)  
宮古市震災復興基本方針を策定(6月1日)  
応急仮設住宅への入居を順次開始(5月15日)  
天皇皇后両陛下が被災地をご訪問(5月6日)  
宮古市東日本大震災復興本部を設置(4月19日)  
応急仮設住宅の建設を開始(3月25日)  
達増拓也岩手県知事が被災地を視察(3月18日)  
東北地方太平洋沖地震・津波により宮古市災害対策本部を設置(3月11日)



# 3 宮古市東日本大震災復興計画

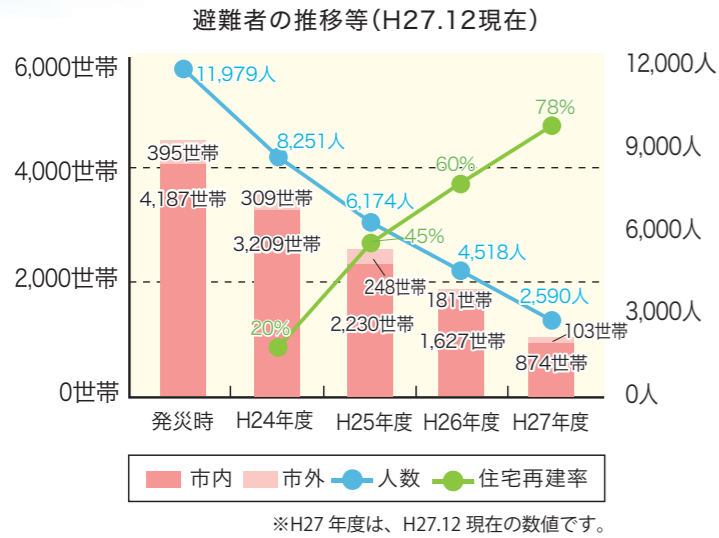
## 3つの柱それぞれの取り組み

### (1) すまいと暮らしの再建

#### ■被災者の再建支援

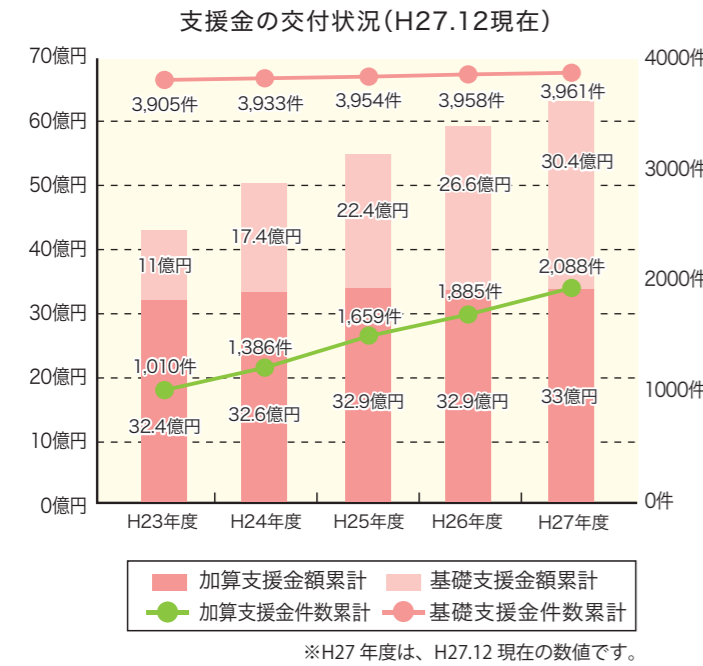
##### □避難者について

災害公営住宅や宅地の整備の進捗に伴い、住まいの再建が加速しており、一刻も早い住まいの再建に向け、今後も支援を継続していきます。



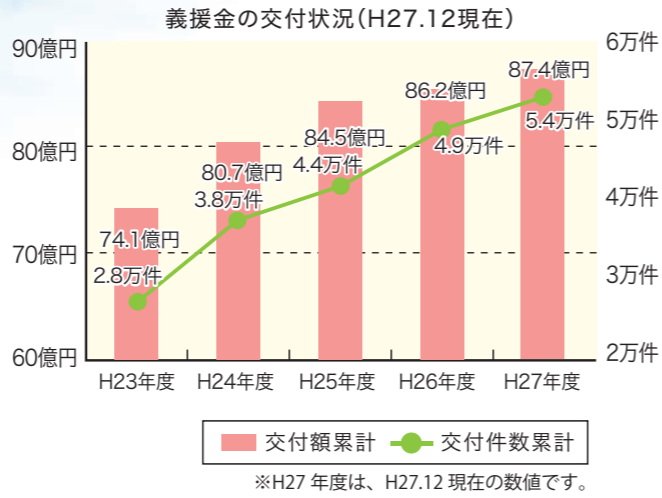
##### □支援金の交付

これまで、約63億円を交付しています。今後は、住宅再建の進捗に伴い、加算支援金の件数増加が見込まれます。



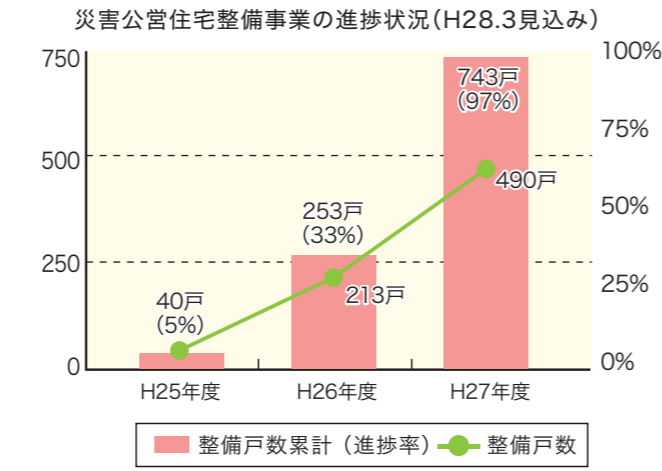
##### □義援金の交付

これまで、国、県及び市に寄せられた義援金約87億円を延べ11回交付しました。



##### □災害公営住宅の整備

整備予定の25団地766戸のうち、山口地区23戸を除く24団地743戸が平成27年度までに完成し、平成28年度中にはすべて完成の見込みです。(地区別の現況は、P14参照)



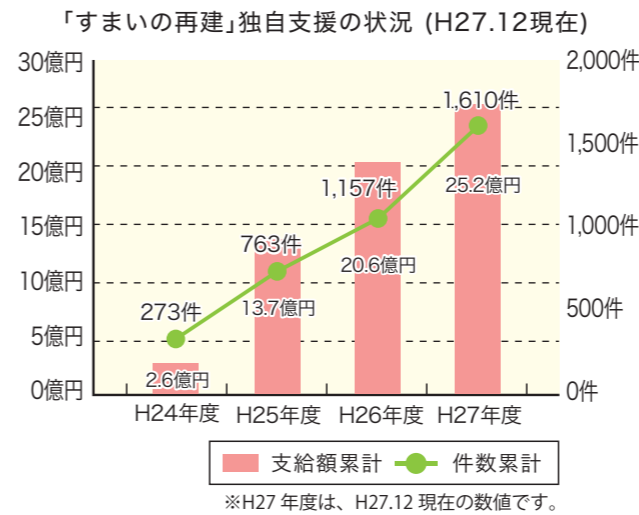
完成した黒田町災害住宅

##### □「すまいの再建」への宮古市独自支援

被災者の住宅再建を支援するため、「すまいの再建促進事業」など6つの市独自支援により、これまで延べ1,610件、約25億2千万円を支給しました。

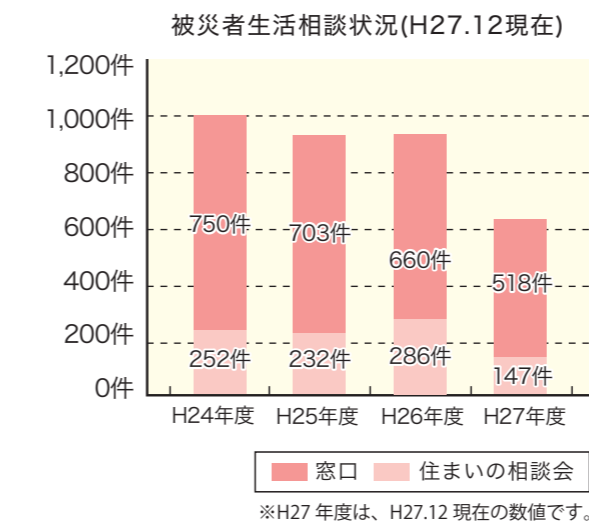
###### 【6つの市独自支援策】

- 1 すまいの再建促進事業
- 2 浸水宅地等復旧支援事業
- 3 地域木材利用住宅推進事業
- 4 定住促進住宅建築利子補給事業
- 5 浄化槽再設置支援事業
- 6 被災者転居費用支援事業



##### □被災者生活相談事業等の状況

市生活課相談窓口で被災者の生活相談を行っています。また、毎月1回「住まいの相談会」を実施しています。



#### ■福祉の充実

##### □被災者への福祉支援の取り組み

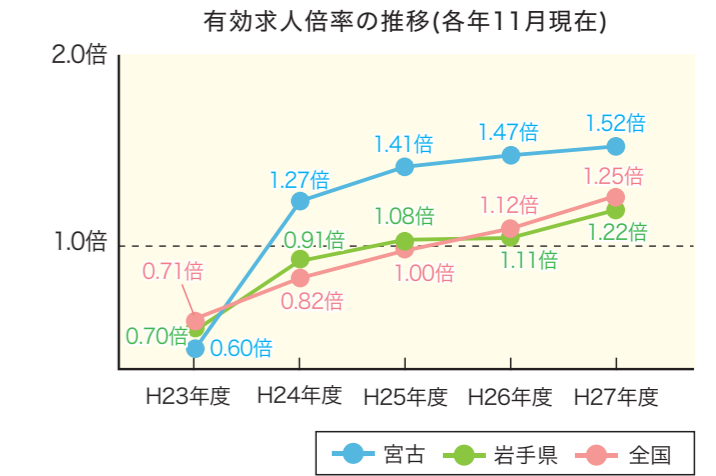
被災者を対象に、障がい福祉サービスの利用者負担の免除や、保育料等の免除を実施しています。また、千歳保育所の流失に伴う重茂児童館までの送迎バスの運行を行っています。

#### ■雇用の維持・確保

##### □有効求人倍率の推移

これまで、国の震災等緊急雇用創出事業の活用などにより、雇用確保や被災者の生活の安定のため取り組んできました。

また、常用雇用への移行を支援するトライアル雇用奨励金、離職者の資格取得訓練費用を助成する離職者資格取得支援補助金や再就職支援セミナーの実施などの支援を行っています。



#### ■保健・医療の確保・充実

##### □被災者の健康維持・増進と心のケアの推進

被災者の心身の健康維持・増進のため、延べ約1万6千世帯への訪問を実施しました。今後も引き続き、訪問による健康調査等の支援を実施していきます。

##### □保健・医療施設の復旧

宮古保健センターは、市民総合体育館敷地内の仮設庁舎で業務を行っており、平成30年度に本復旧する見込みです。(P15 中心市街地拠点施設整備事業参照)

田老診療所は、グリーンピア三陸みやこ内の仮設診療所で業務を行っており、平成28年8月に三王団地内に本復旧する見込みです。



復旧工事中の田老診療所

(平成28年2月)

## □ 児童福祉施設の復旧

仮設建物で保育を実施している津軽石及び田老保育所は本復旧し、平成 28 年 4 月から供用を開始します。



復旧工事中の津軽石保育所 (平成 28 年 2 月)

## ■ 地域コミュニティの強化・再生

### □ 新たなコミュニティづくりのための取り組み

これまで、仮設住宅自治会のコミュニティの育成等の支援を実施してきました。

今後は、再建先でのコミュニティの再生等への支援を実施していきます。

## ■ 学校教育環境の確保・充実

### □ 児童・生徒の教育環境を整えるための取り組み

すべての学校が復旧を終え、再開しています。校庭に応急仮設住宅がある 4 校については、第二中学校が平成 28 年度、楸ヶ崎・赤前・重茂小学校が平成 29 年度に撤去され、その後には復旧する見込みです。

震災に伴う通学バスの運行、学用品費や給食費などの必要な援助等を行っています。

## ■ 生涯学習等施設の復旧と文化財の保存・継承

### □ 社会教育施設の復旧

磯鶏公民館は平成 24 年 8 月に、田老公民館は平成 25 年 6 月に復旧しました。

津軽石及び楸ヶ崎公民館は平成 28 年 4 月に供用を開始し、高浜地区センターは平成 28 年度中に復旧する見込みです。



復旧工事中の楸ヶ崎公民館 (平成 28 年 2 月)

## □ スポーツレクリエーション施設の復旧

藤の川海水浴場は平成 25 年 3 月に、リアスハーバー浮桟橋は平成 27 年 3 月に復旧しました。

田老野球場は平成 28 年 4 月に供用を開始し、宮古運動公園は平成 28 年度中に復旧する見込みです。



復旧工事中の田老野球場 (平成 28 年 2 月)

## □ 文化施設の復旧

市民文化会館は平成 26 年 12 月に復旧し、芸術文化活動の中心拠点施設として大きな役割を果たすとともに、宮古市の復興のシンボルとなっています。



復旧を記念して行われた市民による舞台芸術発表の様子

## □ 文化財の保存・継承のための取り組み

復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査事業は、平成 23 年 5 月から実施し、調査対象 68 箇所すべての野外調査が完了しました。

今後は、資料整理及び発掘調査報告書の刊行作業を実施していきます。



埋蔵文化財発掘調査の様子

## (2) 産業・経済復興

## ■ 農業の復興・再生

### □ 被災した農地・農業用施設の復旧

これまで、被災した農地・農業用施設を原形復旧工事やほ場整備などにより復旧してきました。

平成 28 年度は津軽石・赤前地区の復旧を見込んでいます。

### □ 生産者の再建支援のための取り組み

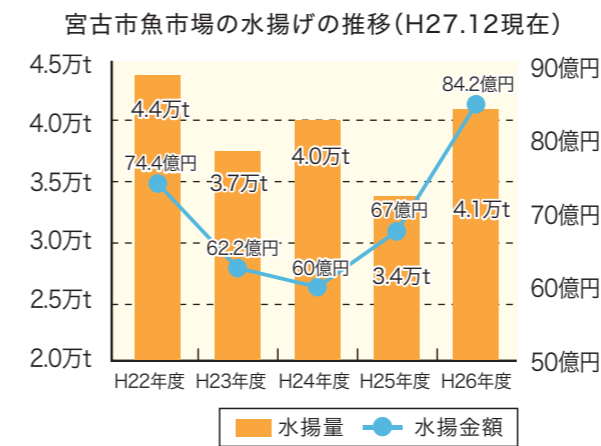
被災農地等の復旧作業を共同で行う取り組みへの助成事業を行っています。

また、被災農業者に農業機械を貸与する事業を行っています。

## ■ 水産業の復興・再生

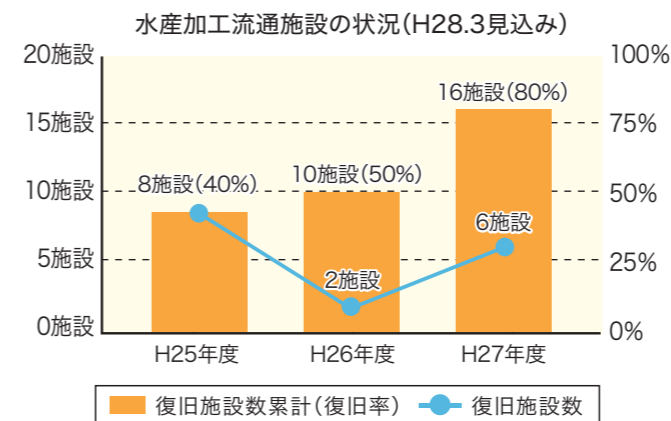
### □ 宮古市魚市場について

宮古市魚市場は、震災の 1 ヶ月後には仮復旧で業務を再開し、その後、平成 24 年度中に本復旧しました。平成 28 年度に市場棟の増築等の整備が完了する見込みです。



### □ 水産加工流通施設の復興のための取り組み

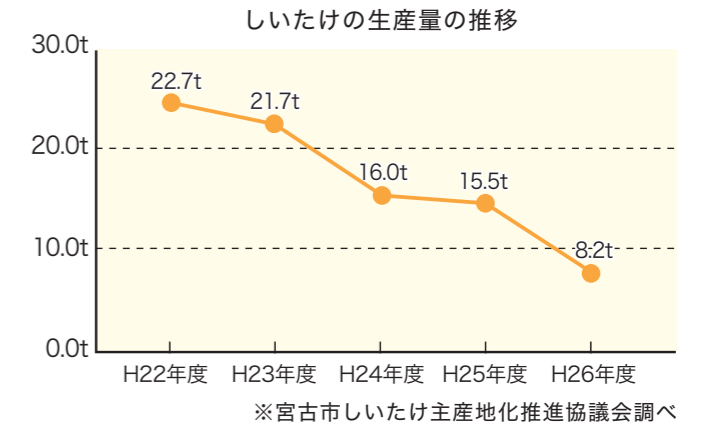
平成 24 年度に策定した「宮古市水産加工流通業復興計画」に基づき、水産加工流通施設の整備に対する補助事業を実施しており、平成 27 年度中に 6 施設の完成を見込んでいます。



## ■ 林業の復興・再生

### □ 生産施設等の復旧

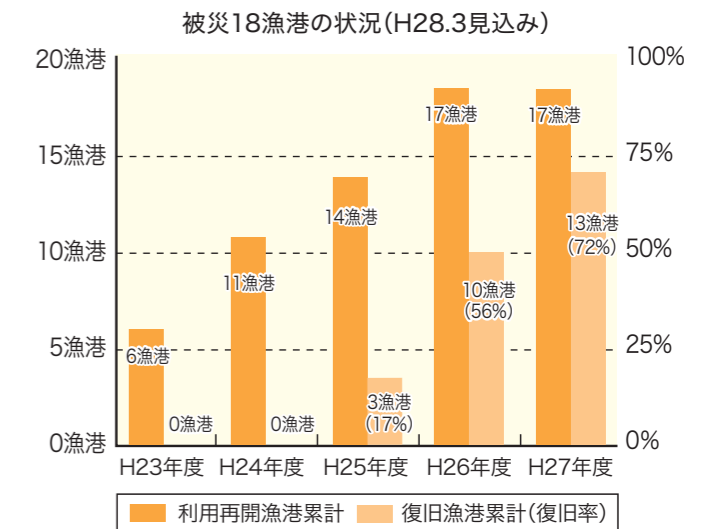
被災した森林や特用林産物の生産施設の復旧に取り組んでいます。特に、しいたけの生産量は、震災前に比べて減少しており、引き続き生産施設の導入を支援し、生産量の回復に取り組めます。



宮古市魚市場の完成予想図

### □ 漁港の復旧

被災 18 漁港の防波堤等の復旧を行っています。これまでに 13 漁港の復旧を終え、平成 28 年度中にすべての漁港が復旧する見込みです。



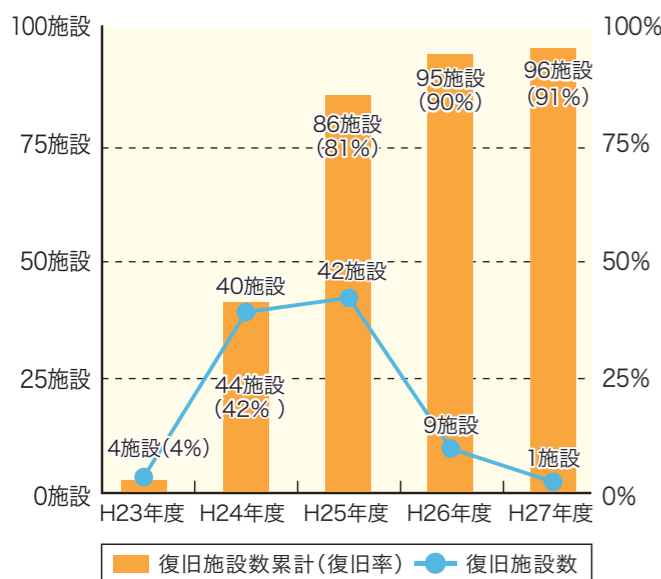


復旧工事中の千鷲漁港 (平成 26 年 7 月)

### 水産業共同利用施設の復旧

被災した冷凍冷蔵施設等の水産関連施設を共同利用施設として復旧する事業を行っています。平成 28 年度中にすべての施設が復旧する見込みです。

水産業共同利用施設の復旧状況(H27.12現在)



※H27年度は、H27.12現在の数値です。

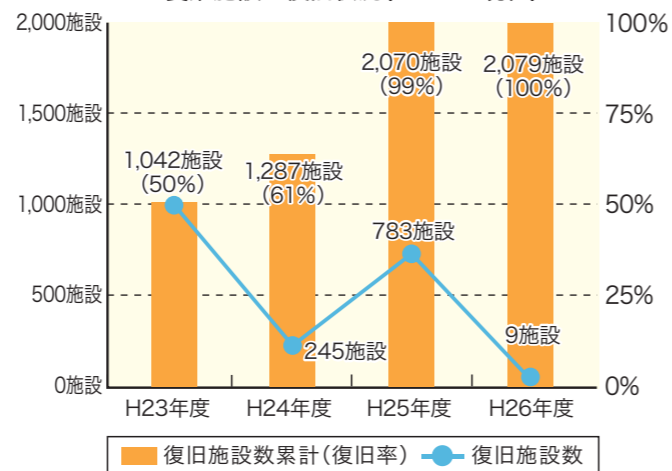


復旧した重茂地区のコンブ種苗生産施設での採苗作業

### 養殖施設の復旧

被災したワカメ、コンブ等の養殖施設を共同利用施設として復旧する事業を行い、平成 26 年度までにすべての再開希望施設が復旧しました。

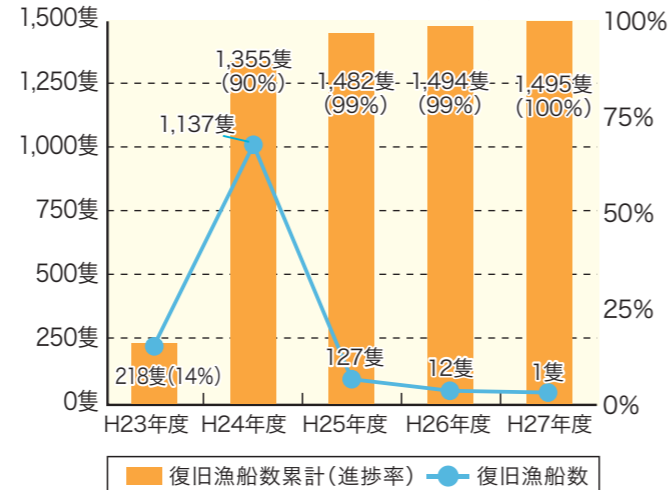
養殖施設の復旧状況(H27.12現在)



### 共同利用漁船等の復旧

漁業の要である漁船を共同利用漁船として復旧する事業を行い、平成 27 年度中にすべての漁船が復旧する見込みです。

共同利用漁船の復旧状況(H28.3見込み)



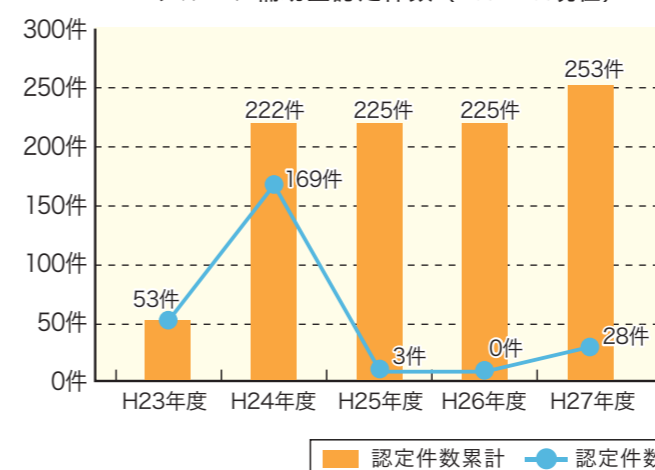
復旧した共同利用漁船

### 商業の復興・再生

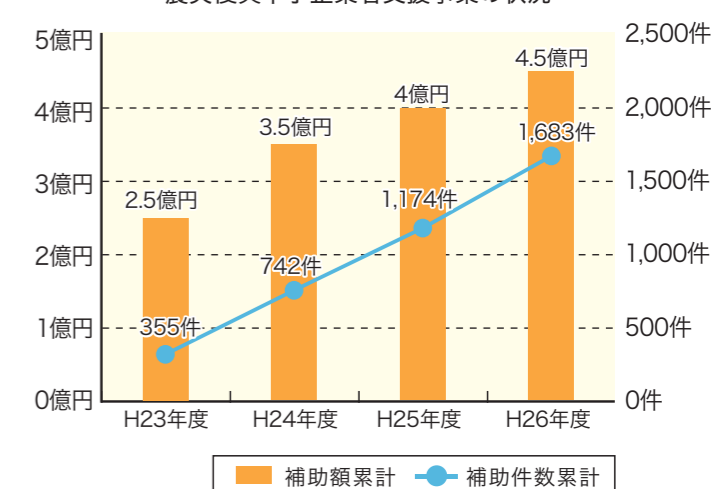
#### 事業再開のための取り組み

中心市街地の再開希望の事業者は、グループ補助金等により、ほぼ復旧しています。田老、欽ヶ崎地区の事業者は、平成 27 年 9 月にグループ補助金が交付決定しており、平成 28 年度にかけて復旧が本格化する見込みです。

グループ補助金認定件数(H27.12現在)



震災復興中小企業者支援事業の状況

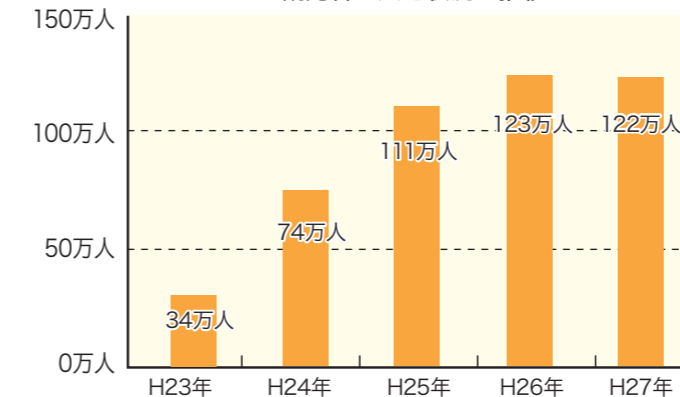


### 観光の復興・再生

#### 観光施設の復旧と誘客のための取り組み

これまで、国立公園内の瓦礫撤去や主要観光施設の復旧等を進めてきました。今後は、関係機関との連携を強化し、受入体制づくりや地域観光資源の掘り起し、観光情報の発信などを重点的にを行います。

観光客の入込状況の推移



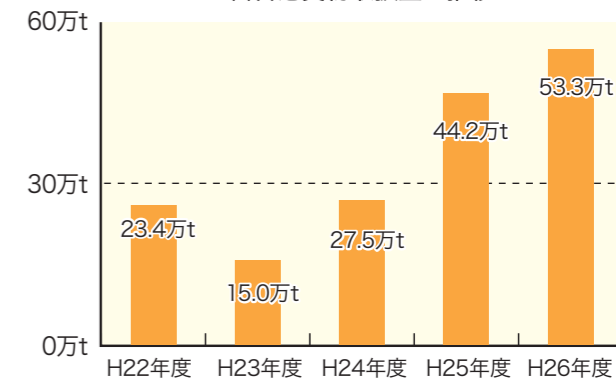
海水浴客でにぎわう浄土ヶ浜海水浴場

### 港湾の復興・再生

#### 港湾の復興・再生のための取り組み

藤原ふ頭は、岸壁が平成 26 年 3 月に復旧し、工業用地海側には、防潮堤の整備が進められています。今後は、フェリー航路開設に向けての取り組みを強化していきます。(フェリー航路については P16 参照)

宮古港貨物取扱量の推移



### (3) 安全な地域づくり

#### ■災害に強いまちづくりの推進

##### □都市再生区画整理事業の進捗状況

(鎌ヶ崎・光岸地地区) 平成 27 年度末で約 6 割の土地の使用が可能になり、平成 28 年度中の完成に向け、事業を進めています。



区画整理が進む鎌ヶ崎地区の様子 (平成 28 年 2 月)

(田老地区) すべての宅地の使用が可能です。



区画整理が進む田老地区の様子 (平成 28 年 2 月)

##### □漁業集落防災機能強化事業の進捗状況

本事業による 7 地区の宅地は、平成 27 年 3 月までにすべて完成しました。集落道等の整備を行う女遊戸地区及び田老野原地区については、平成 28 年度中に完成する見込みです。(地区別の現況は、P14 参照)



宅地完成し、住宅の建設が進む重茂地区 (平成28年2月)

##### □津波復興拠点整備事業の進捗状況

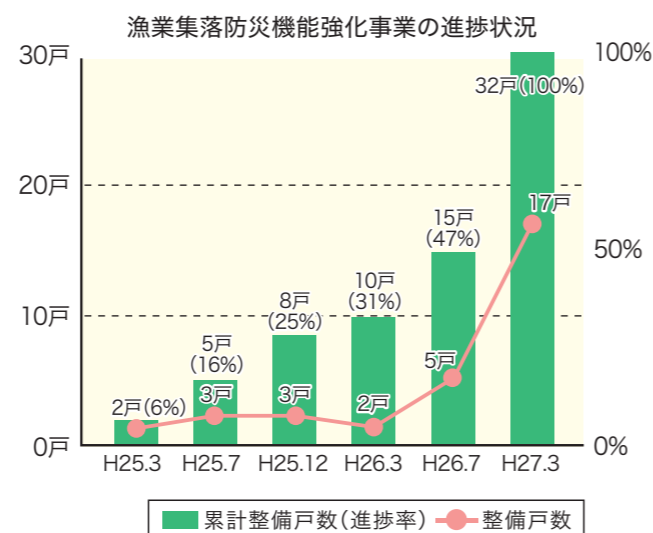
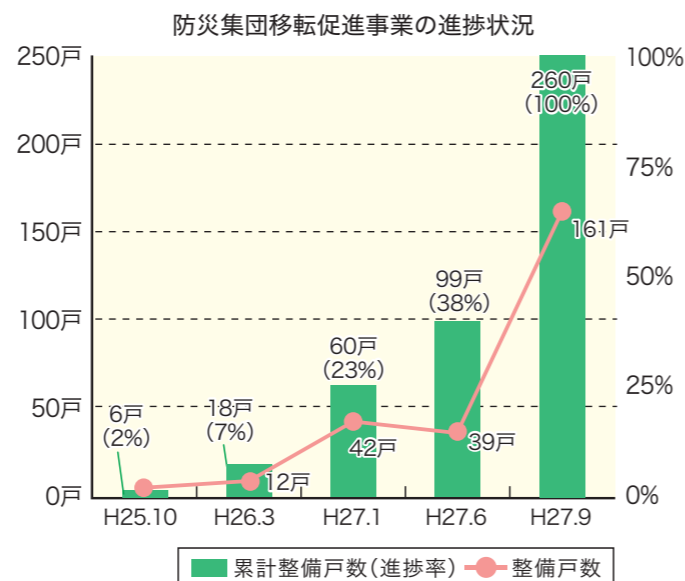
市内 2 地区で事業を行っています。津軽石地区では、地域活動と防災の新たな拠点整備を行っており、平成 28 年度は被災公共施設 3 施設(保育所、公民館兼出張所及び消防屯所)の復旧整備を終え、供用開始する見込みです。(中心市街地地区については P15 参照)

##### □防災集団移転促進事業の進捗状況

本事業による 5 地区の宅地は、平成 27 年 9 月までにすべて完成しました。引き続き、移転される方への建設補助、移転補助を行っています。(地区別の現況は、P14 参照)



宅地完成し、住宅の建設が進む田老地区三王団地 (平成 28 年 2 月)



##### □上下水道の復旧・整備の取り組み状況

これまで、被災した上下水道施設の復旧・復興工事を行い、平成 28 年度には鎌ヶ崎・光岸地地区と法の脇地区の工事が完了する見込みです。今後は、高浜・金浜地区の復旧工事や地盤沈下による浸水対策にも取り組んでいきます。



整備が完了した三王団地の配水池

#### ■災害に強い交通ネットワークの形成

##### □高規格幹線道路等整備促進のための取り組み

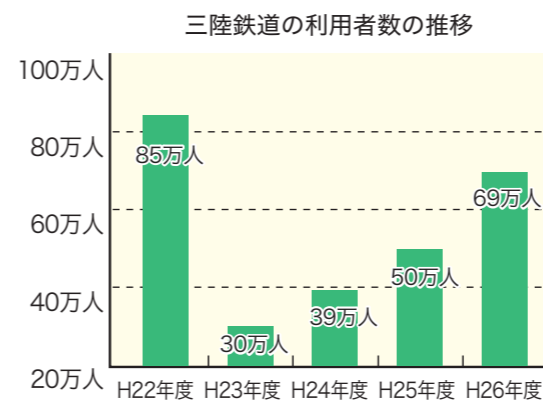
国及び県による復興道路・復興支援道路事業の促進のため、地元との調整などへの協力を行っています。市道北部環状線(山口 - 佐原間)は、平成 28 年度の供用開始の見込みです。(路線別の現況は P14、道路交通網は P16 参照)



摂待第一トンネル貫通式の様子

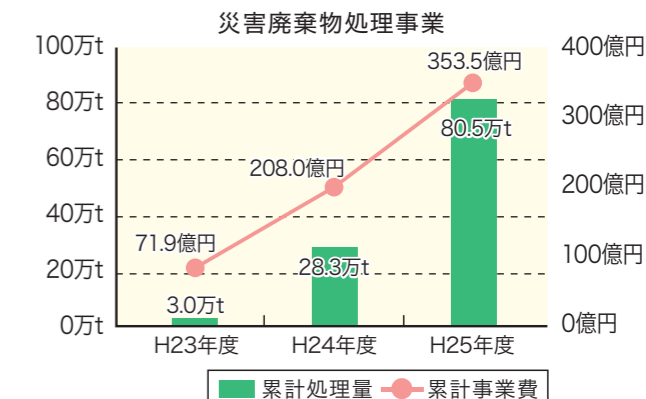
##### □公共交通の復旧と再生のための取り組み

三陸鉄道は、平成 26 年 4 月 6 日から全線で運転を再開しています。



##### □災害廃棄物処理

災害廃棄物の適正処理を実施し、平成 25 年度末までにすべての処理が完了しました。



災害廃棄物処理の様子

##### □市内幹線道路・生活関連道路の復旧・整備

被災した 39 箇所の道路については、これまでに 34 箇所が復旧し、平成 28 年度中にすべての復旧を見込んでいます。

復興関連の市道 8 路線の整備については、これまでに 2 路線(金ヶ沢東線及び駒形 1 号線)が完了し、平成 28 年度には 4 路線(新田平乙部地区道路、磯鶏金浜線金浜工区、金浜 6 号線及び赤前上下線)の完了を見込んでいます。残る 2 路線(河南高浜線及び高浜地区道路)についても、引き続き、事業を推進していきます。

##### □河川復旧

被災した 21 箇所の河川については、これまでに 19 箇所が復旧し、平成 28 年度中にすべてが復旧する見込みです。



復旧工事中のJR山田線伊川橋りょう (平成28年1月)

# 4 おもな復興事業の現況

## ■地域防災力の向上

### □津波避難誘導標識の整備

設置予定 156 基のうち、これまでに 57 基の設置が完了しました。

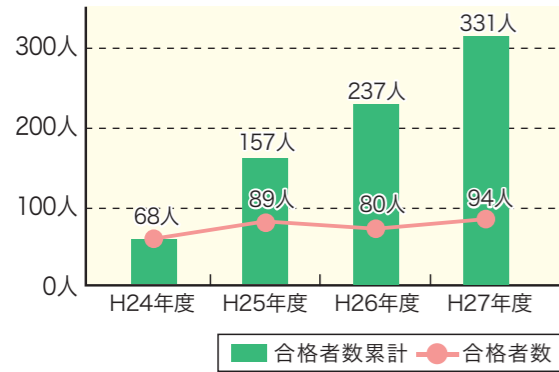


設置された津波避難誘導標識

### □地域防災力向上促進のための取り組み

地域防災のリーダー育成のための防災士養成講座や防災士のスキルアップのためのセミナーを開催しています。

防災士合格者数の推移



## ■災害記憶の後世への継承

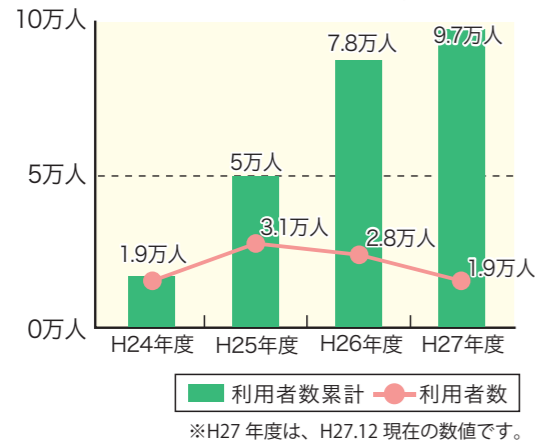
### □震災資料の整理と震災記録の作成

平成 26 年 3 月に『東日本大震災宮古市の記録』第 1 巻(津波史編)を刊行しました。平成 28 年度には、被災体験や証言を収録した第 2 巻(記憶伝承・防災編)の刊行を予定しています。

### □津波遺構の活用

田老地区で災害の記憶を伝える防災学習ツアー「学ぶ防災」を行っており、一般旅行をはじめ、教育旅行や企業研修等で活用され、多くの方が来訪しています。

学ぶ防災実績(H27.12現在)



### □津波浸水表示板の整備

平成 28 年度で、計画している 65 箇所すべての設置が完了する見込みです。



市役所前の歩道橋に設置された浸水表示板

### □消防力向上のための取り組み

消防ポンプ車及び小型動力ポンプ積載車はすべて復旧しています。また、消防屯所は、平成 28 年度までにすべて復旧する見込みです。



整備された消防車両



津波遺構たろう観光ホテル



「学ぶ防災」ツアーの様子

区分	事業主体	路線・箇所名等	事業概要	現況	
復興道路	国	1 三陸沿岸道路	田老岩泉道路(田老北～岩泉) 宮古田老道路(宮古中央～田老北) 宮古道路(宮古中央インター線) 山田宮古道路(山田～宮古南)	H25.3.27起工式 田老第2IC～田老北IC H29年度開通見込み 宮古中央IC～田老第2IC H32年度開通見込み H25.3 宮古中央インター線(千徳大橋)供用開始 H29年度開通見込み	
		2 宮古盛岡横断道路	宮古箱石道路(宮古～箱石) 平津戸松草道路(平津戸・岩井～松草) 区界道路(区界～築川) 宮古西道路	下川井地区 H31年度開通見込み 藤原～松山IC H32年度開通見込み H26.8.24起工式 H26.8.24起工式 H30年度開通見込み	
		復興支援道路	3 国道 340 号	小国 和井内道路 立丸峠 押角峠	H25.11 供用開始 H28年度開通見込み H30年度開通見込み H27.8着工
			復興関連道路	4 重茂半島線 5 市道 北部環状線 6 津軽石停車場線	白浜～堀内 山口 津軽石
	土地区画整理	1 田老地区	区域面積:19.0ha 対象戸数:220戸(民180戸・公40戸)	H27年度完成見込み	
		2 鉾ヶ崎・光岸地区	区域面積:23.8ha 対象戸数:270戸(民230戸・公40戸)	H28年度完成見込み	
	防災集団移転	1 田老地区	対象戸数:232戸(民161戸・公71戸)	H27.9完成	
		2 崎山地区(大付)	対象戸数:30戸(民6戸・公24戸)	H25.12完成	
		3 高浜・金浜地区	対象戸数:52戸(民40戸・公12戸)	H27.6完成(整備保留:民1戸)	
		4 法之脇地区(津軽石)	対象戸数:12戸(民12戸)	H26.3完成	
5 赤前地区		対象戸数:46戸(民46戸)	H27.1完成(整備保留:民4戸)		
津波復興拠点	1 津軽石地区	区域面積:約1.2ha	H28年度完成見込み		
	2 中心市街地地区	区域面積:約1.6ha	H30年度完成見込み		
漁業集落防災機能強化	1 摂待地区	対象戸数:3戸(民3戸)	H25.7完成		
	2 小堀内地区	対象戸数:2戸(民2戸)	H26.3完成		
	3 浦の沢・追切地区	対象戸数:2戸(民2戸)	H25.3完成		
	4 音部地区	対象戸数:3戸(民3戸)	H26.7完成		
	5 重茂地区	対象戸数:21戸(民17戸・公4戸)	H27.3完成		
	6 千鶏地区	対象戸数:3戸(民3戸)	H25.12完成		
	7 女遊戸地区	集落道他	H28年度完成見込み		
	8 石浜地区	対象戸数:2戸(民2戸)	H26.7完成		
	9 田老野原地区	集落道、用地造成	H28年度完成見込み		

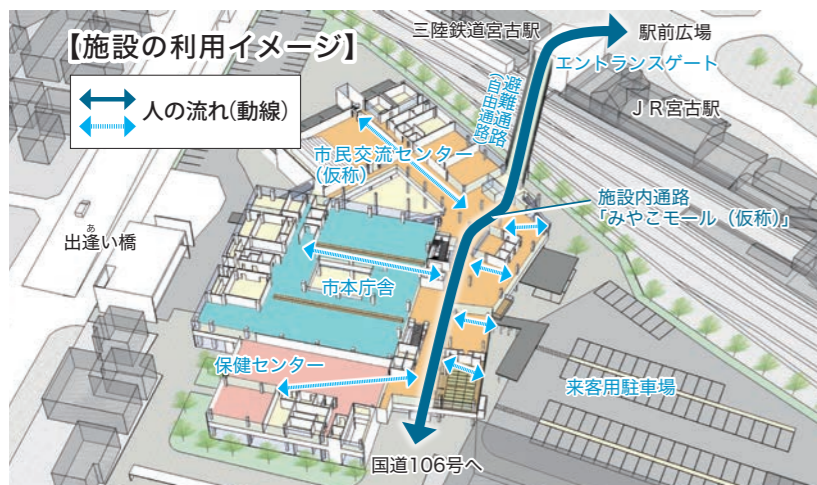
区分	事業主体	路線・箇所名等	事業概要	現況
まちづくり連携道路	県	1 崎山宮古線	鉾ヶ崎	H28年度開通見込み
		2 重茂半島線	熊の平～堀内	H30年度開通見込み
		3 重茂半島線	堀内～津軽石	H30年度開通見込み
		4 重茂半島線	里	H29年度開通見込み
		5 重茂半島線	千鶏	H28年度開通見込み
		6 重茂半島線	石浜	H28年度開通見込み
		7 重茂半島線	川代	H28年度開通見込み
災害公営住宅	市	1-① 田老三王Ⅰ	戸数 36戸 木造2階	H27.10完成
		1-② 田老三王Ⅱ	戸数 29戸 木造1階・木造2階	H28.3完成見込み
		1-③ 田老三王Ⅲ	戸数 6戸 木造1階	H28.3完成見込み
		2 田老	戸数 40戸 RC造5階	H27.11完成
		3 崎山	戸数 24戸 RC造4階	H27.3完成
		4 日の出町	戸数 26戸 木造2階	H27.4完成
		5 港町	戸数 40戸 RC造5階	H27.12完成
		6 和見町	戸数 23戸 RC造5階	H27.3完成
		7 黒田町	戸数 24戸 RC造5階	H27.8完成
		8 山口	戸数 23戸 RC造4階	H29.1完成見込み
		9-① 近内Ⅰ	戸数 40戸 RC造5階	H26.3完成
		9-② 近内Ⅱ	戸数 40戸 RC造5階	H27.3完成
		10 西ヶ丘	戸数 24戸 RC造4階	H27.4完成
		11 高浜	戸数 12戸 木造2階	H26.4完成
12 金浜	戸数 12戸 木造2階	H27.11完成		
13 赤前	戸数 14戸 木造2階	H26.11完成		
14 重茂	戸数 4戸 木造1階	H27.6完成		
県(市営)	県(市営)	1 本町	戸数 34戸 RC造8階	H27.9完成
		2-① 西町1号棟	戸数 30戸 RC造5階	H27.6完成
		2-② 西町2号棟	戸数 23戸 RC造4階	H27.6完成
		3 津軽石	戸数 35戸 RC造5階	H27.7完成
		4 上村	戸数 24戸 RC造4階	H28.3完成見込み
		1 上鼻	戸数 24戸 RC造4階	H27.7完成
		2 八木沢	戸数 42戸 RC造5階	H27.10完成
県(県営)	県(県営)	3 佐原	戸数 50戸 RC造5階	H27.2完成
		4 磯鶏	戸数 30戸 S造2階	H27.3完成
		5 宮町	戸数 20戸 S造3階	H27.3完成
		6 鴨崎町	戸数 20戸 S造3階	H27.9完成
		7 実田	戸数 17戸 S造3階	H27.7完成

※民:民間宅地 公:公営住宅  
※スケジュールは、平成 27 年 12 月 31 日現在における計画であり、今後、変更する可能性があります。



# 5 発展期に向けた取り組み

## ■中心市街地拠点施設整備



### □施設概要(数値等は基本設計時点)

**建設地** … 宮古市宮町一丁目、南町及び山口第一地割の各一部  
**敷地面積** … 16,766.48m<sup>2</sup>  
**主要施設** … 市民交流センター(仮称)、市本庁舎、保健センター  
**建築面積** … 4,878.51m<sup>2</sup>  
**延べ面積** … 14,358.95m<sup>2</sup>  
**構造種別** … 鉄骨造  
**階数、高さ** … 地上6階、約28m  
**付属施設** … 避難通路(自由通路)、公用車庫棟、駐車場(来客用140台、公用車34台)、駐輪場104台

### □配置計画

三つの施設を一つの建物として建設。移動がしやすい便利な施設を目指します。

施設内通路「みやこモール(仮称)」を起点とし、スムーズな動線を計画します。目的地への経路は、分かりやすいサイン(表示)で案内。安全で、歩いていて楽しい活気あふれる空間づくりを目指します。

### □今後のスケジュール

平成27年度末に実施設計(建設工事までの一括発注)に着手し、平成30年度に完成・供用開始を目指します。

## ■スマートコミュニティ

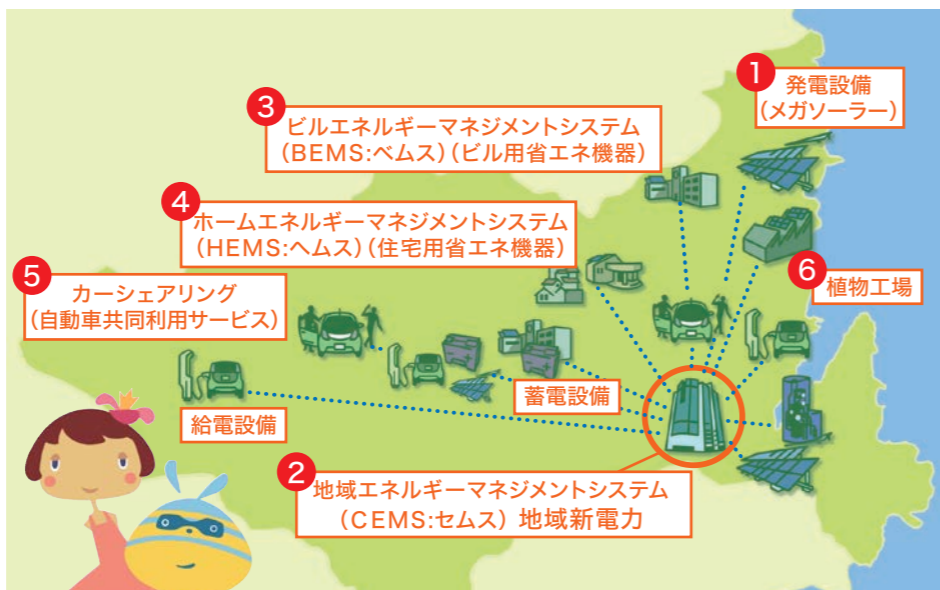
情報通信技術を活用しながら、再生可能エネルギーを利用し、家庭やオフィス、工場など社会全体で、エネルギーを無駄なく有効に活用する仕組みを「スマートコミュニティ」と呼びます。

### □目指す姿 ～「再生可能エネルギーの地産地消」の実現へ～

「地産のエネルギー」を「地域で無駄なく賢く使う(地消)」仕組みの構築を目指しています。

具体的には、次のような計画があります。

- 太陽光による再生可能エネルギーを創出します(①)。
- セムス(②)と各機器(③・④)とのネットワーク化を図り、エネルギーの需給バランスを管理します。
- 省エネ機器(③・④)を導入し、ビルや住宅などで、効率的なエネルギー利用を図ります。
- 地産エネルギーを利用したカーシェアリング(⑤)や植物工場(⑥)など新しい事業を創出します。
- カーシェアリングの車両は、災害時の非常用電源として避難所などで活用します。



宮古スマートコミュニティイメージキャラクター「あかりちゃん」「すむすむ」

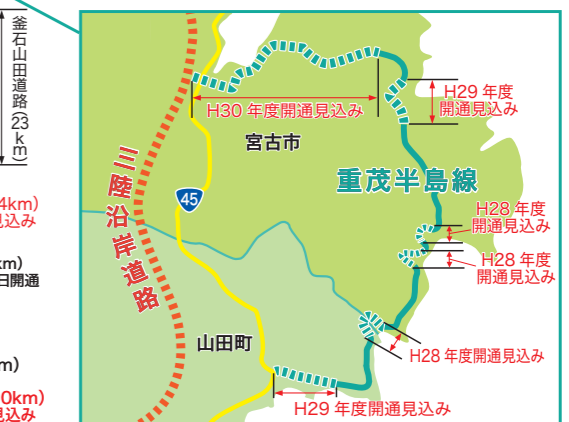
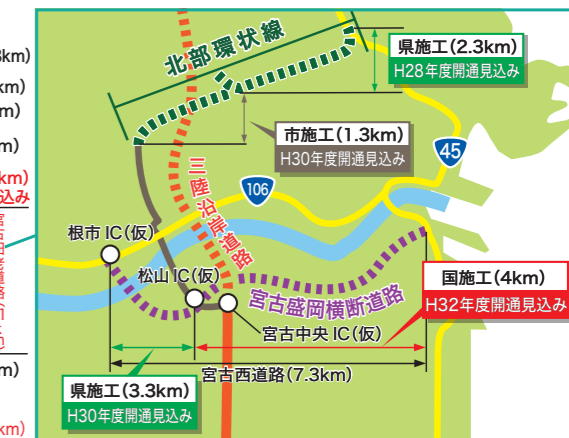
## ■道路交通網



### □道路交通網

現在、「三陸沿岸道路(八戸・久慈自動車道、三陸北縦貫道路、三陸縦貫自動車道)」「宮古盛岡横断道路(宮古～盛岡)」「東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)」「県道重茂半島線」「市道北部環状線」などの道路整備が進んでいます。

これらの道路交通網は、災害時などに「命を守る道」として、避難、救命救急、復旧支援などの機能を担うほか、新たな流通・経済効果が期待されています。



※(図は平成28(2016)年3月1日現在)

## ■フェリー航路(宮古港～室蘭港)



本市と室蘭市を結ぶ岩手県初のフェリー航路の開設について、平成28年3月7日に川崎近海汽船(株)が正式決定しています。平成30(2018)年6月の就航に向けて、関係機関と連携し、取り組みを強化していきます。航路が開通されると、新たな観光ルートの創出など、人、物の様々な交流が期待されます。



◀平成27(2015)年11月15日、宮古港発着のフェリーショートクルーズが行われ、約500人の市民らが約2時間の船旅を楽しみました。(写真=藤原ふ頭に着港したフェリー「シルバークイーン」)

こころ育む、美しい森

いのち育む、清らかな川

めぐみ育む、豊かな海

宮古市の進む道は、未来へと繋がっています。

